

『東日本大震災のお見舞い』

三月十一日に発生した東日本大震災に遭われた会員各位にお見舞い申し上げます。ご家族、ご親戚、ご友人などご関係の方々には不幸にして被災された方もいらっしゃる事と思っております。会員ご自身のお宅の被害、CD、LP、オーディオ機器などの損傷は如何でしたでしょうか。一日も早い復興を祈念してやみません。

『AAFC創立十五周年記念品の配布』

AAFC十五周年記念アーカイブDVD(CDスタンド)の二品を四月二十四日の例会開催時に会員の皆様にお渡しいたします。

AAFC十五周年記念アーカイブDVDは我孫子オーディオファンクラブの過去の活動記録を一枚のDVDに収録した物です。

収録概要は次の通りです

AAFC十五年の歩み。第一回より第八回までのライブコンサートの全録音(音声のみ)。一回分の動画映像と六回分の記録写真。オーディオコンサートの動画映像の一部。二回分の記録写真。観桜会やバーベキューなどのほか、旅行の記録写真。AAFC創立以来のホームページの全記録

これらはすべてホームページと同様な感覚で閲覧する事が出来ます

などが一枚のDVDに収録されており、このような掘削理事の労作である貴重なDVDを皆様に配布することになりましたが、このDVDを閲覧する為には、どうしてもパソコンが必要となります。

パソコンをお持ちでない方には申し訳ありませんが、ご家族、ご友人などの機器でご覧下さい。

のCDスタンドはAAFC銘入りの陶器製です。CD、DVDなどの鑑賞時にお手元においてご利用下さい。

会長

『オーディオと私』

私は東京は下町の向島で育ち、最近ほとみに有名になったスカイツリーのある業平橋は当時自宅からの最寄り駅でした。写真スポットとなった源森橋などはよく通ったので名前を聞くだけでも懐かしいですね。

オーディオは高校時代から兄の感化で初めたもので、その後消長はありながらも四十年以上にもなります。そしてこの趣味のお陰で今までも随分楽しんでまいりました。

AAFCには十年ほど前、加瀬さんに誘われて参加したのがきっかけで、多彩なメンバーの色々な発表が楽しみで参加させていたでいます。最近はどうも私のやっていることが専門的過ぎるようであまり参加してはいいませんがたまにはよろしくお付き合いのほどを。

オーディオ機器は完全な自作派なのであまり市販の製品は使っていません。またもとより高価なものも持っていませんのでそういう意味で参考にはならないかもしれませんが。

音楽を聴くのももちろん好きですが、オーディオの趣味は自分の求める音の探求と物づくりの綾を楽しむのが醍醐味と、もっぱら機器の進歩で出る音に一喜一憂しながら過ごしています。最近飽きもせず相変わらず物づくりに精を出していますが、むしろ段々と変化のスピードが加速しているような雰囲気です。

自作も普通のアンプ作りから始まりましたが、良い音の探求から結局範囲はどんどん広がりが、音の入り口から出口まですべてにわたって首を突っ込むことになってしまいました。

まず入り口はAAFCのお陰で生録にも挑戦するようになって、デジタルの恩恵で昔のテープ時代とは異なり、手軽で高性能な録音が可能になって来たのは助かります。その影響でだいぶ前からPCオーディオに手を染めることになりました。

入力系デジタルはCDトランスポートも色々作りましたが、力作にもかわらず私にはPCオーディオの方が好みのように感じられるので新作はありません。むしろSDメモリープレーヤなどの方が面白い面がありますね。

アナログは当然昔はLPしかありませんでしたのでマグネフロートをはじめ、手製のオイルダンブアームやターンテーブルシートなどに凝りました。デジタルが目覚めてからはすべて廃棄してしまいました。

ところが近年になってどうも様子が変わりLPの方が良いという意見もあって、LP12の格安安品を手でできたこともあって再度トライすることになりました。

でもしばらくは思つような音にはならず模索していましたが、SARTREIの最新イコライザになってからは下手なCDを凌ぐ位の音が出るようになり、入力系の一ジャンルとなるまでになりました。現在は自作DSLレコッタでデジタル化してPCオーディオで聞くようにしています。

そのPCオーディオですが、最近ようやく話題になってきてその利点も知られるようになりましたが、まだまだ一般には敷居は高いようです。ただし、その分まだまだ開拓の余地があるようで、最近ではWindowsも離れてLinuxベースのVoxengoDがメインになっていきます。

代わってアンプ系の話ですが、半導体系アンプはかなり昔、バクーンプロダクツの永井社長との縁があり、その永井さんが開発したSlydアンプを中心に作ってきました。Slydアンプは十数年来色々な改良が加えられ発展しているアンプなのでこれも長い付き合いになりました。最新のSlydアンプはかなり画期的な音がしています。

ほかに真空管アンプも一通り作っています。MT管のシングルから始まりGT管ステレオ、直熱送信管アンプまで、大体のものは作りました。球も趣味としては面白いものです。

スピーカーもこれまで経歴を挙げて長くあります。三菱の六半から始まってLT8Tやランサー101タイプのホーン、アパロンなどのお決まりのコースをたどってきたのですが、あるところから海外ユニットの入手が容易になり、それを使ったシステム作りを始めるとコストパフォーマンスを考えるとあまり既製品には興味がなくなりました。

今HdAudio、GESOSRシリーズや、SEAS EXCELシリーズなどのSweetyマルチチャンネルがメインになっています。

小型スピーカーシステムも色々十セットぐらいは作ったでしょうが。

最近計測にも力を入れるようになり、基本的に立ち返ってきちんとした設計もするようになっています。これもパソコンを使ったフリーソフトなどのお陰で、以前から思えばこのような高度な計測やシミュレーションがアマチュアで安価にできるようなったのは隔世の感があります。

オーディオの楽しみ方は色々あるでしょうけれど、それぞれ自分のイメージを如何に実現するかで、そのアプローチの方法は数限りなくあると思います。

その課題と解決法を見出すのにもパズルを解くような知的な面白さもあり、対象の音楽の深さもまた挑戦するに相応しい趣味の王道だと思つのですが、最近マイナーになり若い人の関心を呼ばないのは残念ですね。まあ私自身としてはできる限り続けてゆこうと思つていますのでまたお付き合いのほどよろしく。

拙ブログもよろしく。

http://milestone.at.webry.info/

石田 隆

左の写真は多種の機器類に満ちた自宅の部屋



上の写真は二〇〇八年のAVフェスタ発表会場にて



下の写真は水元公園にて

